

## 協働の時代の学びと実践

# 学習支援ハンドブック



編集・発行：  
財団法人 日本女性学習財団

協働の時代の担い手としての学びが今、求められています。地域で活動を展開しているグループの皆さん、市民活動を支援している自治体職員の方々など、さまざまな学習を支援している人たちが次のステージへステップアップしていくための役立つ情報がぎっしり詰まっています。

### 基本編

イラスト入りQ&Aで身の回りのありがちな活動・学習場面の例を引きながら、学習や活動の基本的な考え方をわかりやすく解説。

### 理論編

#### I 「協働の時代」に求められる「学習」とは

- 1 「協働の時代の学習」に求められる視点
- 2 「いままでの学習」をふり返る
- 3 「協働の時代の学習」支援を考える

#### II 「学習」とは

- 1 「おとなの学び」をめぐる学習の理論
- 2 講座での学習
- 3 グループ活動での学習
- 4 協働とふり返りの「実践コミュニティ」づくり

#### III 学習支援者の役割と力量形成

- 1 学習支援者の役割
- 2 学習支援者の力量形成

### 実践編 (事例①～⑤のタイトル)

- ① 持続可能な市民活動を支える支援者の役割とその展開
- ② 学習を支援する力をもつ市民がどのように形成されてきたか
- ③ 講座生が講座の企画・実施・ふり返りを行うこと
- ④ プログラム検討の学習体験を通して事業評価の意味と方法を学ぶ
- ⑤ 「学習する組織」を体験するーファシリテーショングラフィックを通して

### ◇プログラム開発研究会

入江 直子 神奈川大学外国語学部教授 ※座長  
 菊池 朋子 (財)横浜市男女共同参画推進協会職員  
 藤村久美子 東洋英和女学院大学人間科学部教授  
 三輪 建二 お茶の水女子大学文教育学部教授  
 山本 昌江 所沢市保健センター保健師



定価 1,500円(税込)/送料 210円(1部)/B5判 150ページ



【Q5 メンバーの役割が固定したり、参加意欲にばらつきがあるのですが…】